





事務所：長野県伊那市西町 5016-2 電話 0265(76)5858 例会日：毎週火曜日 例会場：海老屋料理店 0265(72)2158  
 会長：中川博夫 副会長：唐澤千明 幹事：池上幸平



2015-2016 国際ロータリーのテーマ  
**世界へのプレゼントになろう**  
 Be a gift to the world

2015-2016 RI会長  
 K.R.“ラビ”ラビンドラ  
 スリランカ



**第1357回 例会 平成28年5月31日(火)**

■ 点 鐘 12:30

■ ソング 真実を求めて 藤澤健二ソングリーダー



■ 会長談話 中川博夫会長



今日は、2016年4月10日～15日に米国シカゴで開催された2016年規定審議会議決結果の一部をお話します。

規定審議会は3年に一度開催され、クラブや地区、理事会などから提案された立法案の審議と投票が行われ、審議会の正式な決定報告書は、2カ月以内に各クラブに送られ、本ウェブページにも掲載されます。

クラブは、これらの審議会決定に対して2カ月以内に反対意思を書面で提出することができます。そして、有効投票の少なくとも5パーセントが反対の意思表示をした場合、その審議会決定は一時保留となり、事務総長が郵便投票を行います。

郵便投票で過半数の反対があった場合は決定が無効となります。それ以外の審議会決定事項は、審議会閉会直後の7月1日より効力を有します。ロータリアンの手引きである「手続要覧」が変わるということです。

ところが、我がクラブに報告書は届いていません。ガバナー事務所からのメールで知った次第です。意見表明に残された日は僅かですが、どうしても納得できない決定事項がありましたらクラブの意思を表明したいと思っています。

今回提案された案件は181ありました。採択された案件の一部を紹介しますと、

- CLP (クラブ・リーダーシップ・プラン) に基づく5委員会 (会員増強・クラブ広報・クラブ管理運営・奉仕プロジェクト・ロータリー財団) を最低必須とし、クラブ広報を公共イメージ委員会とする。

名前が変わるだけですが、広く知らしめるだけではなく、公共イメージ向上に努めなさいということですよ。

- クラブ会員の入会金を廃止する件 (趣旨：入会金規定を廃止し、ロータリアン見込み者の枠を増やす) が賛成238、反対217で採択されました。

そして、人頭分担金を増額する件。投資収益の悪化により、2017-18年度から2019-20年度まで、人頭分担金を毎年4ドルずつ増額することが賛成317、反対197で採択されました。今年度が56.5ドルで4期後の19-20年度には68ドルに、今期ベースで約20%の大幅増額です。レートを110円、会員数40名としますと、我がクラブの分担金は毎年17,600円の増額になります。

もし規定が変わると、入会金と人頭負担金はクラブ一般会計の収支項目に計上しますから、会費の値上げが難しい中、支出の見直しが必要となってきます？

- クラブ例会と出席に柔軟性を認める件 (趣旨：各クラブ細則で例会頻度と出席に関する規定を定めるようクラブに柔軟性を与える。毎月最低2回の例会改正に修整)。賛成392、反対82で採択。

この件に関しては、次期地区ガバナーが地区の見解を示すとのことですが、もし規定変更とな

れば、例会内容を大幅に変えなくては、ロータリーを正しく理解する機会が失われてしまうのではないか。そして、ロータリーへの足が遠のけば、退会に繋がるのではないかと危惧しています。

ほとんどの皆さんが初めて聞く話だと思います。審議案件についての結果一覧表をWebページからコピーしたものを事務局に置きますので、ぜひとも熟読しそれぞれの意見を述べてください。

## ■ ニコニコボックス

- ◆中川博夫 今日暑くなりそうです。
- ◆池上幸平 先週は遅刻をして申し訳ございませんでした。  
市川さん、本日卓話をよろしくお願いします。
- ◆矢島宏 我クラブの支援している小学生ソフトボール アルプスイ〜なちゃんチームが、全日本小学生女子ソフトボール県大会で優勝しました。8月に全国大会で岡山県に行きます。よろしくお願いします。
- ◆市川修次 今日卓話です。宜しくお願いします。
- ◆多田浩之 5月29日のゴルフコンペにて優勝させていただきました。人生で初めてコンペでドラゴンが取れました。熊谷さん、伊藤さん、ありがとうございます。
- ◆三澤耕太 先日のゴルフコンペお疲れ様でした。大変暑い中、当クラブコンペの準優勝でした。ライオンズはあまりハンディがつかず74位でした。
- ◆唐澤稔 日替りで暑かったり寒かったり…。体調に気を付けて下さい。

■ 幹事報告 池上幸平幹事 幹事報告は別紙をご覧ください。

## ■ 委員会報告

・5月22日(日) 上伊那グループ次年度会長・幹事会の報告 小川秋實次期副会長



2016.5.22 辰野町すし辰  
垣内章雄次期ガバナー補佐が招集  
小川次期副会長(伊澤次期会長の代理)と宮澤次期幹事が出席

自己紹介ののち、協議事項を協議

1. ガバナー公式訪問等のスケジュール： 伊那中央RCへは、ガバナー補佐事前訪問が10月11日、ガバナー公式訪問が10月25日。ガバナー補佐の第3回と第4回訪問の日程等は、各クラブからガバナー補佐事務局へ連絡のこと。なお、伊那中央RCへの第4回訪問は、次々期補佐を紹介するので、30周年記念例会とは別な日程にとの要望があった。
2. 上伊那グループIM：2017年3月12日(日) たつのパークホテル
3. 次々期ガバナー補佐選出：箕輪RCから選出予定。9月の歴代分区代理・ガバナー補佐会で承認を得る。
4. 提出書類等：クラブセントラルから目標入力、「クラブ計画書」他を辰野RC事務局へ。
5. その他のグループ内行事：伊那中央RC30周年は、2017年4月23日
6. 地区の方針：PETS、地区協で説明があったが、ガバナー補佐事前訪問でも説明したい。特に、会員増強は上伊那グループで10名以上、また、RI財団100周年で1人200ドルの寄付を願いたいとの説明があった。これに対し、寄付金額について疑義が出され、確認するとの回答があった。
7. 各クラブから  
伊那中央RCから、伊那西高校IAC補助金(1人1000円)を例年通り要請した。なお、次期ガバナー補佐から来年度以降は検討をとの要望があった。  
駒ヶ根RCから、地区補助金事業(ネパール支援)に各クラブ10万円抛出の案の説明があった。これに対し、抛出金は人頭割りにとの要望があった。

・5月22日(日)~23日(月) 分水RCとの友好事業打合せ会の報告 藤澤健二次期親睦活動・友好副委員長



場所 湯田中温泉『一茶のこみち 美湯の宿』  
出席 矢野昌史会員 田中洋会員 伊澤会長エレクト 三澤耕太次期S A A  
藤澤健二次期親睦副委員長  
分水ロータリークラブ 川崎会員 含む4名

5月22日 午後1時 あつとホーム駐車場集合  
3時20分 到着  
3時50分 打ち合わせ  
6時 宴会  
5月23日 午前11時 伊那市到着

①30周年の分水ロータリークラブの出席・宿泊場所などについて  
事前に連絡をして頂く事を依頼しました。

②親睦旅行交流会

来期は30周年式典出席も有る為、一年に二度は大変！

当番はそのままで旅行は来期に延して頂きたい！と申し入れも有り、了承させて頂きました。

③親睦友好桜

前回、分水に届けた桜の根付けが悪かったために改めて、2本を届けさせて頂きたい。

なお、今回は必ず桜の根の周りの土もお願いされました。

納めるのは、11月15日頃？雪が降る前を基準に依頼されました。



・5月30日（月）社会福祉法人たかざや福祉会評議員会の報告が矢野昌史会員よりありました。



・アルプスイ〜なちゃんソフトボールクラブ活動報告 矢島宏会員



アルプスイ〜なちゃんソフトボールクラブ保護者会長より「第30回全日本小学生女子ソフトボール県大会」において優勝し  
全国大会出場決定の報告をいただきました。全国大会は8/6（土）～8/9（火）岡山県にて開催されるそうです。

・5月29日（日）ゴルフコンペ表彰式



優勝：多田浩之会員 2位：三澤耕太会員 3位：大谷智鶴会員



・合併10周年伊那まつり花火への協賛のお願いが矢野昌史会員よりありました。





## ■ 出席報告

会員数38名 出席免除会員7名 長欠会員2名 本日出席者23名 事前メイク2名  
出席率83.33% 前回出席率 修正なし

## ■ 卓話 市川修次会員



◎地震に備える

### 1、防災士

・防災士は、2002年に「特定非営利活動法人日本防災士機構」とし「自助」「共助」「協働」を基本理念として発足、2003年10月に防災士の第1号が認定された。

### 2、災害列島日本

・世界で起こる地震の10%が日本及び日本近郊で起きている。

### 3、地震の尺度

・地震の大きさを図る上でマグニチュード（M）と震度がある。Mは1違うと約30倍となり、M7以上が「大地震」、M8以上が「巨大地震」、M9以上が「超巨大地震」と言われる。

熊本地震はM6.5とM6.2の2回、阪神淡路はM7.3、東北沖はM9阪神淡路の700～800発分のエネルギーの超巨大地震であった。

・震度は7が最大。7は「建物の倒壊が30%を超えた場合」以上の揺れ（阪神淡路地震で初めて適用）。震度6強とは、「這わないと動けない木造建築だと倒れる場合もある」という揺れとなる。

### 4、今までに起きた地震

・最大の地震は1960年にチリで起きた地震でそのMは9.5。2番目が2004年に起き22万人が亡くなったスマトラ沖の地震はM9.2。この地震の影響で地軸が7cmずれ一日の長さが短くなった。（NASA発表）

### 5、「東海・東南海・南海地震」連動して起こる「南海トラフ地震」

・30年以内の確率70～80%

・M9.1～9.3、揺れは中部から九州にかけて震度6.5強から7が20分程度から長くて1時間程度続く可能性があると言われている。

・死者32万人、負傷者62万人、避難所生活者500万人、一週間の必用食料9600万食必用、水1億4500万ℓ、瓦礫2億5000万トン（東北沖の12倍）、経済的被害は220兆円、（国家予算の2年分）と想定されている。

### 6、阪神淡路大震災の教訓

・阪神淡路大震災は1995年1月17日、午前5時46分52秒、M7.3

・犠牲者6434人、亡くなった人の93.6%が午前6時までに、99.9%が17日中、78.9%が自宅、53.9%が家屋や家具の倒壊による「窒息死」、「圧死」が12.4%。83.3%の人が建物による犠牲者となっている。

・下敷きになった生存者のうち74.9%は当日に救出され3日間（72時間）で96%の人が救出された。その為に「黄金の72時間」「72時間の壁」といわれる。

・阪神淡路大震災では、政府、行政の災害時対応においてさまざまな問題が浮き彫りになり、その後、政府や行政、企業等で「被害を出さない」防災から、被害が出ても初期に食い止める「被害を減らす」減災の重要性が認識、推進されるようになった。個人や各家庭でも、食料や水などの備蓄や家具を止めるなど、大地震に対する備えが大変重要となっている。

## ■ 点 鐘

13:30

### 次回例会

6月14日（火） 点鐘 12:30 場所 海老屋料理店

全員協議会「次年度委員会」

例会後：現・次年度合同理事会